授業科目名	スポーツコーチング学特講演習（陸上競技（トラック））	授業形態	演習	授業科目区分	必用科目 (ｽﾎﾟｰﾂ総合科学)
担当教員名	松村　勲			補助担当者名	
単位数	2　単位	履修年次	1	受け入れ人数	若干名
授業の概要及び達成目標	陸上競技トラック・ロード種目のコーチング場面につながるさまざまな知見を取り上げ、議論していくことにより、多角的で体系的にコーチング論を整理することを、本授業の目的とする。このことにより、陸上競技トラック・ロード種目のコーチングにおける高度なコーチングの基礎を身に着けることが期待される。				
成績評価の方法	□学期末試験の成績（0%）　□出席状況（30%）　□授業への取り組み状況（50%） □レポート等の提出状況（20%）　を総合的に評価する。				
成績評価の基準	各授業での発表やディスカッションの内容およびレポートの内容を総合的に評価する。				
テキスト、教材 参考書					
履修条件・ 関連科目	陸上競技のトラック・ロード種目を専門とする者。※競技者として、研究対象としてのいずれか。	備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	月～木の12：00～15：30、研究等3階310研究室				

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、ﾚﾎﾟｰﾄ等課題の指示)
1	松村　勲	陸上競技短距離走（スプリント）についての先行研究を探る	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
2	〃	陸上競技短距離走（スプリント）の先行研究についてまとめる	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
3	〃	陸上競技短距離走（スプリント）の先行研究について議論する	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
4	〃	陸上競技中距離走についての先行研究を探る	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
5	〃	陸上競技中距離走の先行研究についてまとめる	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
6	〃	陸上競技中距離走の先行研究について議論する	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
7	〃	陸上競技長距離走についての先行研究を探る	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
8	〃	陸上競技長距離走の先行研究についてまとめる	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
9	〃	陸上競技長距離走の先行研究について議論する	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
10	〃	自身の競技生活内容を発表し、ディスカッションする①	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
11	〃	自身の競技生活内容を発表し、ディスカッションする②	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
12	〃	自身の競技生活内容を発表し、ディスカッションする③	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
13	〃	陸上競技トラック種目におけるコーチング方法を発表し、ディスカッションする①	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
14	〃	陸上競技トラック種目におけるコーチング方法を発表し、ディスカッションする②	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
15	〃	陸上競技トラック種目におけるコーチング方法を発表し、ディスカッションする③	事前にパワーポイントで資料を作成しておく